



読字 萩原田 親

No. 637

2011/5/5

日中友好新聞

発行所
日本中国友好協会
〒113-0045 東京都文京区
西新1-1-1 東1号ビル3階

日中友好協会
岡山支部
〒700-8236
岡山市東区3-8-30 511
TEL:0861272-3010
郵便番号119番
01250-0-3835

日中友好協会
倉敷支部
〒713-8011
倉敷市連島中央1-8-1
(宮地方)
TEL/FAX:0860446-2711

日中友好協会岡山支部ホームページ
<http://rizhong.web.infoseek.co.jp>
メールアドレス
rizhong86@hotmail.co.jp



中国引き揚げ65周年記念企画 漫画展

「中国からの引き揚げ～少年たちの記憶」



この一枚

赤い夕陽に

小便とどけ

僕の心の地平線

森田拳次（7才）

さすがプロの漫画家たち、少年の記憶を、見事に絵にとどめる。

見のがせない貴重な宝。森田少年は7両の無蓋車にすし詰めになって、燃える夕日に向かって、ぼく、おしっこー、思い切り飛ばせよ」と父は、ぼくを高々と抱き上げた。

—— ———

そして去年日本中を駆けめぐった60余の漫画は、東日本大震災のあと6枚が加えられた。温かく力づよい応援の筆。

2011年3月15日の署名。

竹内和夫

アンケートから

あれから65年余り……そしていま、東日本大震災の東北地方を含む日本の現実——に。あの日・あるとき 終戦後の日本の復興の足跡と今、この二〇一一の春の日本を、重ね合わせてみられる貴重な「漫画展」だった。だからこそ！体験を、試練を乗り越えて、希望と勇気の明日の日本を祈るや切、である。

男性 70歳代



中国語講座の交流会がひらかれます

4月16日(土)午後6時から又來軒で行なわれた、中国語講座講師、クラス委員、日中友好協会岡山支部の理事による懇親会で、今年7月に、中国語講座の受講生と講師による交流会を開くことが決まりました。

当日、講師3名と受講生11名、理事3名の総勢17名で

父 90歳が満州引き揚げ者です。

若いころあちらに渡り語学学校に通いながら仕事したことや青春時代の真ただ中を異国の地で過ごした話を、ときおり聞かせてくれることがありますが、なぜか引き揚げの事を詳しく話してくれたことはありません。体験者にしか分からない思いをしたであろうということは想像できます。

私は先月、九州から夫の転勤のために岡山に来ておりますが、現在九州の介護施設に入っている足が不自由な父が、若いころあちらでどんな苦労をされたのだろうか、あらためて思いました。そういう辛い苦しい経験をしなければならぬ時代を通じてきた方たちの平穏を願わずにはいられません。

女性 50歳代

ぎやかに話し合い、今後の中国語講座について次のことが決まりました。

1点目：入門講座を2期(1年間)学んだ受講生は卒業となり、それぞれ次の段階のクラスに移っていただきます。自由にクラスは選んでいただきます。

そして、新しく入門講座として、初めて中国語を学ぶ人向けに募集をして発音からスタートする講座を設けることにする。

2点目：2クラス以上受講する方には、2クラス目の受講料は2000円とする。

また、当日集まった方に持ち帰っていただいて、各クラスで意見をまとめていただくことになったことがあります。

それは、受講料を1000円値上げして、3600円とする。(中級と上級は4100円)そのうち600円は日中友好協会の新聞購読料として支払い、毎月三回発行される新聞を購読する。日中友好協会の会員である方は、受講料は変わらず3000円(中級と上級は3500円)とする。

という内容です。これは7月からの受講料に適用することが可能ですので、それまでに各クラスで意見集約をお願いします。また、各クラスの授業の内容、

使用テキスト、各講師による模擬授業など体験できる交流会をすることも決まりました。

日程は7月だけを決め、細かい日時場所等はこれから詰めていきます。中国茶などの時間も設けてはどうだろうかという意見も出ています。大変有意義な懇親会でした。

真田



中国からの帰国者

益田百合子さんの

日記から

4月15日、午後1時半に集合して、3人でいっしょにキルト展示会をみに天満屋へ行きましました。キルトの作品がたくさんありました。三浦百恵さんの作品もありました。花や川の模様をたいへんきれいに縫っていました。それから中国食品商店へ行って山植餅をいただきました。これから自分でカバンをつくりたいです。



日本語教室・課外授業 倉敷教室・総社教室

一日バス旅行 総社教室

倉敷教室

下津井城山公園で課外授業

4月6日10時過ぎ、粒江の教室をスタート。瀬戸内海国立公園の王子ヶ岳に向かいました。山頂からの眺望は四国が間近に迫りよかったです。サクラはあいにくの3分咲き、こればと思いい、昨年にも行った下津井の城山公園に行きました。

一〜二本満開に近い樹がありその下で弁当を広げました。



中央の白い塔は鷺羽ハイランドのタワーです。

※講師より

見てください」とパソコン打ちの原稿を教室に持って来られました。敬語も使われているこの文章を書くためにどれほど中日辞書を駆使されたことでしょうか。多少添削をしましたが、私の知らないことまで書かれていて、どこかに発表してもらいたくご本人の了解を得ましたので貴紙に送ります。

(2011年4月21日)

一日バス旅行

三月二十七日に日本語教室の先生たちと日本語教室生徒と赤澤さんの孫ちゃん私の孫と一緒に総社市役所前に集まって旅行に行きました。

皆さんで、まず、今日の天気がとても良いです。よく晴れた天気が旅行には一番いいと話しました。そうですね。三月二十七日の二週間前ぐらいから

天気がずっと悪くて、曇りで風が強くて寒かったです。その日だけ曇らず風がなく暖かくなりました。

定刻の九時にバスが出発しました。途中皆さんで話したり歌を歌ったり楽しい雰囲気になっていました。

私の孫は高階先生と一緒に座っていました。途中で私の孫は恥ずかしくなかって大声で歌を歌ったり、喋ったり一日中とても楽しくしていました。高階先生は大変疲れられたと思います。ありがとうございました。

うどん作りを体験

十時ぐらいに讃岐うどん店に到着しました。その後、店の職人がうどん打ちの方法を教えてくださいました。昼ごはんに自分で打ったうどんを自分で食べました。面白いと感じました。実は中国から帰ったほとんどの皆さんは、うどんを打つ方法がわかりません。自分の好きなおかずとうどんと合わせて食べます。私は時々、肉や魚や野菜などを炒めて作るスープとうどんと合わせて一緒に食べます。この食べ方が私は大好きです。

午後、普通寺に着きました。普通寺の中には仏像がとても多く、寺の周辺も中も観光客で賑やかでした。四国には八十八の有名なお寺があります。一番の霊山寺から八十八の大窪寺まで。

普通寺は七十五番です。日本の多くの寺は昔からありました。普通寺は、その建物がとても綺麗で雄大で、日本人の知恵を表していました。

黄さんのお便りを読んで

「日中おかやま」(4・25 付)の、黄艶萍さんの文に、いろんな意味でショックを受けた。(内容は繰り返しませんので再度目を通してください)

私たちは日中友好運動の中で黄さんと親しくお付き合いをし、理解しあってきた。昨秋の「日本語教室6周年の集い」では、わたしとともに司会をし、きちんと「通訳」の役割を果たしてくれた。本当にすばらしい女性だった。

あの誠実で心やさしい黄さんの心情を思い胸が熱くなった。娘さんの不利益になるかもしれないのに、担任にメールを送ったこと、中国の子供たちに、人間としてどうあるべきかを率直に訴えていること。

それにしても10歳前後の子供たちが「日本はかつて中国を侵略したから、日本の地震被害者を支援しない」という実態をどう考えたらいいのだろう。四川大地震のとき、日本の子供たちはどう考えたのだろう。

国と国がきっぱりとした戦後処理をしていないことが、このようにいつまでも尾を引くのだろうか。少々当惑し、途方にくれながらも、やっぱり一人ひとりが誠実なお付き合いを重ねるしかないのだろう、と思う。黄さんが、勇気をもって日本人への理解を訴えたこと——それは黄さんを取りまく私たち日本人が黄さんと「気持ちを通わせ合っていたからだ」と信じたい。

坪井あき子

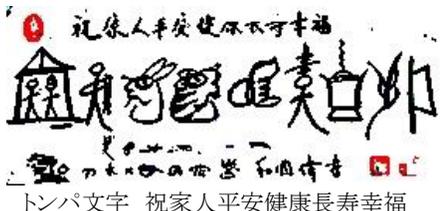
あしがれの香格里拉(シャングリラ)

真田 紀子

⑤

四日目は、麗江です。古い町並みがそのまま残っているため、最近とても人気の観光地になっているようです。特に麗江古城からの瓦屋根の町並みは、秀逸ですね。

案内された東巴(トンパ)文化博物館で、トンパ文字を書いてくれるおじさんがとても素敵でした。なんでも、麗江の王家木一族の末裔だそうで、見事なトンパ文字を書くことができます。有名なんだそうです。私も我家の平和と安全という文字をいれて書いていただきました。今、私の部屋に額に入れて飾っています。この地域で住んでいる少数民族で最も人口が多いのがナシ族です。そのナシ族の文字がトンパ文字だそうです。そして、ナシ族には2200年前から



トンパ文字 祝家人平安健康長寿幸福



富岡さんとお孫さん

(受講生：富岡義晴)

作られている紙があるそうで、原料は沈丁花と麻だそうです。虫がつかなくて丈夫なので今でも作っているそうです。その紙にトンパ文字を書いてくださるので

作られている紙があるそうで、原料は沈丁花と麻だそうです。虫がつかなくて丈夫なので今でも作っているそうです。その紙にトンパ文字を書いてくださるので

次回の新聞送付作業は
5月23日(月)午後1時半
民主会館2階で行います。
前回お手伝いくださった方
です。

吹林和製
小内井垣
竹坪三